



きずな

SENBI

2018年1月

第3001号



《2018年の挑戦》

代表取締役社長 中田義秀



新年明けましておめでとうございます。
皆様にとって、新しい年が実りある素晴らしい
年でありますようお願いいたします。

さて、経済情勢に目を向けてみますと、安倍政権の掲げる高度経済成長を順風満帆に受けているのは、一部の大企業に留まり、多くの企業は相変わらず悪戦苦闘をしています。

また、昨年大きな社会問題となったのが、自動車業界の無資格者による検査や製鋼所のデータ改ざんなど、会社ぐるみの品質関連の不正の発覚がありました。この結果、これまで先人が培ってきた高品質の日本企業というブランドの牙城が崩れ、各国からの信頼、信用が失われていく危険性が生じています。

これら事案発生背景には、企業の傲りやコンプライアンスの欠如があると考えておりますが、当社もこの事案を他山の石とせず、よりお客様の信頼を得る仕事を提供していく必要があります。

私は、昨年、新年を迎えての挨拶で、2017年は挑戦する年とし、そのためには、将来のセンビを担う人材育成と新規事業への積極的な参画を進めていくことを申し上げましたが、上手く進めることができませんでした。

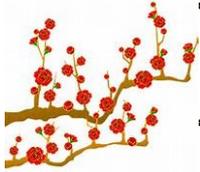
いずれの挑戦も、短期で結果が出るものではなく、計画的に粘り強く押し進めていく必要があります。

そのためにも、本年も基本的には、昨年の事業を継続してまいります。その継続には、「センビ」のイメージアップ戦略や企業体質の改善も取り入れ、お客様に必要とされる会社として更に成長したいと考えています。

今年の干支は「戊戌」（つちのえいぬ）で、昨年芽生えた新たな価値がグッと成長する年だといわれています。

この干支の謂れのように、本年多くの果実が得られるようあらゆる方策を講じてまいりますので、社員皆様におかれても、更なる挑戦と活躍をしていただきますようお願いいたします。





2018年抱負



呉営業所
所長 齋藤敦則



新年、あけましておめでとうございます。

昨年、6月より私と神原所長代理との新体制になりましたが、大きなトラブルも無く、新年を迎えることができました。これもひとえに本社サポートのおかげかと感謝いたします。

また何より、長年従事してくださってる呉営業所の皆様の日々のご努力のたまものとの思いです。

この場をお借りし、改めて御礼申し上げます。

○マンション管理スタッフへ いつもきめ細やかな対応ありがとうございます。

○1号警備員へ 夜勤対応にもかかわらず、遅刻、欠勤無いこと、今後ともご信頼しております。

○2号警備員へ 毎日早朝より、市内にとどまらず、遠方への現場ありがとうございます。

○貯油所勤務の方へ 貴殿ご両名の代理はおりませので、本年も引き続き、よろしく申し上げます。

本年度は、新年を迎える2度目となりますので、現行の新たな充実はもちろんのこと、新たなお客様、新物件の契約に取り組み会社の売り上げ、利益に貢献していく所存です。昨年同様、本年もよろしく申し上げます。



東山口営業所
所長 本田健一



明けましておめでとうございます。

昨年は、労務中の事故はありませんでした。

しかし、通勤途中等の交通事故が発生しました。幸いにも軽傷事故で安堵の胸をなでおろしています。

本年は、安全衛生推進計画に定められている実施事項を確実に履行するとともに、職員の皆様との連携をさらに強固にして、労務災害ゼロを第一の目標として取り組むたいと思っておりますので、ご協力をお願いします。

まずは、一にも二にも、健康管理を一番で頑張っていきたいと思います。

三次営業所
所長 平田 勇



新年明けましておめでとうございます。
昨年同様に各物件が人員不足でありましたが、皆様の協力により無事に新年を迎えることが出来ました。まだまだ課題はありますが、これからも三次営業所と従業員の方々と共に飛躍の年としていきたいと思えます。
与えられた仕事を受け継ぐだけでなく、一から再度見直す姿勢を大切にしながら、既存物件の管理、更に新規物件の開拓し、課題である人員確保と従業員の仕事への取組む意識を一人一人が力をつけ、より良い仕事をすることを目標にして三次営業所並びに従業員と共に頑張っ
て参りたいと思っておりますので、皆様も三次営業所を今後ともよろしく願いいたします。

本年の目標として、

- (1) 人員確保と従事者への意識改革に取り組む。
- (2) 個々の能力向上



東広島営業所
所長代理 大岡章三



明けましておめでとうございます。

当営業所を取り巻く環境は、平成27年来の毎年「企業者に関する国等の契約の基本方針」が閣議決定されたことにともない、東広島市においても「地元企業の育成」を合言葉に、原則市内本店、市内本店では履行が難しいものについて、市内営業所を含めた発注に見直す方針と、大変厳しい状況にあります。

このような状況でも、昨年は営業推進本部のご指導により受注業務に一定の成果を得ることが出来ました。また、現在履行中の業務も、設備部を中心に会社一丸となり、計画工程表とおりに進捗中です。この場をかりて厚く御礼申し上げます。

本年は、情報収集、創意工夫を合言葉に頑張ります。ご指導の程よろしくお願い致します。

戌年とは

今年の十二支は「戌」、干支は「戌戌（つちのえいぬ）」ですが、この「戌」にはどんな意味があるのでしょうか？



「戌」は十二支の11番目で、時刻にすると午後8時を中心とする前後2時間を指し、方角は西北西のやや北寄りとなります。

戌年は、西暦を12で割って2が余る年になります。

$$2018(\text{年}) \div 12 \\ = 158 \text{ 余り } 2$$

したがって、本年の西暦2018年が戌年になるのです。



犬は人との付き合いも古く、親しみ深い動物です。また、社会性があり、忠実な性格でもあります。さらには、お産も軽いことを結び付けて、安産をしたいなら戌の日に腹帯をすとか、おめでたい意味を持つようになりました。もともと十二支の子、丑、寅、卯・・・亥には動物の意味はなく、無学の庶民が十二支を覚えやすくするために、身近な動物が当てられたということです。

★「戌戌」の運氣や兆候

今年の「戌戌」は、2017年に燃え尽きた豊かさや幸せの灰の中から、新たに芽生えた新たな意味や価値がグッと成長することを示しています。

ただし、この芽吹きが上手くいかなかったり、中途半端に過去に囚われたり拘ったりしていると、それが自分の足を引っ張り、良くない結果になるそうです。つまり、前向きに地道な努力を重ねることができるかどうかで成長するか、枯れてしまうのか、この2018年の戌戌は、大きく変わるそうです。

枯れずに成長する、良い一年にするために、今年の戌戌年は過去の失敗にクヨクヨせず、成功にも囚われず、前向きに新しい目標に向かって努力するよう心がけましょう。



★ 戌年生まれの人性格



戌年生まれの方は、義理人情に厚く、十二支の中で最も誠実さに溢れた人だそうです。

心を許した相手には、ずっと変わらない友情をもち続けて、決して自分から裏切ることはないといわれています。

また、忠誠心が強いので、上司や目上の人から認められたり可愛がられたりして、人よりも早く出世をしたり、大金を手にするなど、人から羨ましがられるような成功を得ることも多いです。

しかし、その性格ゆえに、他人からお人よしとみられがちで、義理を大切にされたために無駄なお金を使う羽目になったり、時間を費やしてしまうこともあります。

なお、戌年と亥年の方は、独特の個性や考えをもっていて、なかなか周囲の理解を得られないという一面も持っています。

★ 戌年の過去の出来事



- 1946年 新円発行、日本国憲法公布、国際連合総会第1回開催
ソ連が千島列島・樺太の領有を布告
- 1958年 東京通信社がソニーに社名変更、アメリカ初の人工衛星打ち上げ
関門トンネルが開通、新1万円札（聖徳太子像）発行
- 1970年 日本万国博覧会開催、日本航空機よど号ハイジャック事件発生
初の国産人工衛星「おおすみ」打ち上げ成功、三島事件
- 1982年 ホテルニュージャパン火災、上越新幹線開通
フォークランド紛争勃発と終結、日本航空350便墜落事故
- 1994年 オウム真理教による松本サリン事件発生、日本初女性宇宙飛行士
向井千秋氏を乗せたスペースシャトル打ち上げ
- 2006年 日本郵政株式会社が発足、ライブドア事件
第1回ワールド・ベースボール・クラシックが開幕

戌年には、他にも沢山の事件や出来事が起こっていますが、何かが始まったり、今も語り継がれるような大きな事件が起こったりすることが多いのかな？と感じています。



パンフレット更新

会社のパンフレットをリニューアルします。

新しいパンフレットは、これまでの8ページからスリム化して4ページ（A3両面印刷）とし、よりインパクトの強い内容とします。

現在、編集内容を構成するのに四苦八苦していますが、2月には完成（納入）させる計画です。

新しいパンフレットは、納入され次第各部署に配布しますので、業績拡大に繋がるよう積極的な活用をお願いします。



従来 of パンフレット

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

昨年の新年号では、初詣の方法について記事にしましたが、皆さんの初詣はどのようにされましたか。



さて、私も株式会社センビの一員となって1年半が経過しました。その間、職員皆様にとっても暖かく接していただき心から感謝しております。

与えられた業務では、自分なりに努力してきたつもりではありますが、結果として果たして皆様のご期待に添えているのかは、はなはだ疑問が残ることが多く、深く反省するとともに、新年の誓いとして、今一度気を引き締めて頑張りたいと思っています。

ところで本「きずな」も、今回を含めて7回目の発行となりました。

毎回、社長のあいさつ文を掲載していますが、その都度、社長の言葉として、会社の方向性や指針が述べられています。

先日、テレビで「ユニクロ」の柳井代表から興味深い言葉がありました。それは仕事をする際の社員の心構えについて、「上司が何を考えているのかを考えて仕事をする必要がある、ただし、上司とは課長、部長ではなく組織の代表者である。」と述べられました。そのくらいの気構えある社員でないと、会社の発展は望めないということのようです。

私も柳井代表の言葉を思い起こし、今後、きずなに掲載される社長の挨拶文から、自分なりに会社の目指す方向性を読み取る努力をしたいと考えを新たにしました。

